

今回の調査では、アライグマがクサガメを襲うところを直接確認できたわけではないが、淡水性カメ類のアライグマによる被食が報告されていることから(小賀野他, 2010), 本事象はアライグマによるものであったと推察される。

#### 引用文献

小賀野大一・小林頼太・小菅康弘・篠原栄里子・長谷川雅美. 2010. 淡水性カメ類の被食被害:房総半島における発生事例. p.493, 生態学会大会企画委員会(編). 第57回日本生態学会大会講演要旨集. 日本生態学会, 京都. (講演要旨)

---

## 屋久島におけるミシシippアカミミガメ(?)視認の報告

吉村雅子

岡山ため池外来種調査会

**The record of *Trachemys scripta elegans* in Yakushima Island.**

**By Masako YOSHIMURA**

***The research group of the introduced species in the reservoirs at the Okayama plains***

---

2013年9月5日午前中, 鹿児島県屋久島男川河口にて素潜り中, 水深約50cmの水底にミシシippアカミミガメと思しきカメ(図1)を認めたので報告する。大きさは成人男性が指を広げてつかむ程度の大きさであった。雌雄は不明である。水は濁ってはいなかった。水底は石が多かった。水温, 気温は不明である。天候は晴れ(台風一過)であった。

その日, 川の素潜りツアーでお世話になった屋久島マリンサービスYMSのガイド榎田氏によれば「島のお祭りでカメを売っている」とのことであった。男川は屋久島の中でも人口密度の高い地域を流れる川である。「島のお祭りでカメを売っている」ことが目視したミシシippアカミミガメと思しきカメの存在に濃厚に関与しているものと推測する。



図1. 屋久島男川にいたミシシippアカミミガメと思しきカメ